

## 1 はじめに

一人ひとりをかけがえのない存在として大切に育て、一人の子どもも一人ぼっちにしない。

## 2 児童・生徒数、学級数

### (1) 令和3年度（訪問日現在）

|     | 1年 | 2年 | 3年 | 4年  | 5年 | 6年  | 特<br>(知) | 特<br>(自) | 計   |
|-----|----|----|----|-----|----|-----|----------|----------|-----|
| 児・生 | 88 | 86 | 85 | 113 | 84 | 117 | 13       | 16       | 602 |
| 学級数 | 3  | 3  | 3  | 4   | 3  | 4   | 2        | 2        | 24  |

### (2) 令和4年度予定数

|     | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年  | 6年 | 特<br>(知) | 特<br>(自) | 計   |
|-----|----|----|----|----|-----|----|----------|----------|-----|
| 児・生 | 86 | 88 | 86 | 85 | 113 | 84 | 11       | 15       | 568 |
| 学級数 | 3  | 3  | 3  | 3  | 4   | 3  | 2        | 2        | 23  |

## 3 職員組織体制

(1) 県費負担教職員数 33人

(2) 県費会計年度職員

初任者校外後補充(2) 初任者拠点校(1) 主幹教諭後補充(1)

小学校専科理科(1) 特別支援教育充実(1) 日本語指導(1)

(3) 県費負担正規教員の男女の割合、平均年齢

男性 13人(41.5歳) 女性 15人(41.9歳) 男女合計 41.7歳

(4) その他

○学年主任が若手教員に対して育成の視点から適切に助言できる。

○指導部長が自身のやりたいことを存分にできる環境を整え、教師としての自信を育む。

## 4 校訓「強く 正しく 美しく」に寄せた思い ※ 昭和47年度学校経営書を参照

「強く」粘り強くやりぬく気力体力のあるたくましい子

「正しく」自他の関係を考えて自主的に正しい行動をする子

「美しく」豊かな感受性をもち心身ともに美しい人間味のある子

## 5 学校教育目標「本気の花をさかせる子」に寄せた思い

(1) 「本気」の姿

○学習や活動が子ども自身のものとなり、自分らしさを発揮した主体的な取組が表れた姿

○子どもたち一人ひとりが本気に何かに取り組む先に、確かな自尊感情を。

(2) 今年度、特に重要視したい子どもの表れ「自分から」

○子どもたち自身が主人公となり、主体的に参加してはじめて本物の楽しさを味わうことができる。

- 楽しさは、小学校教育においては、生涯、学んでいこうとする源。
- 教師側が「生活のきまり」を作り、子どもたちを指導・管理してきたことで落ち着いたきのある学校風土を構築してきた。次の段階として子どもたち自身で学級や学校をさらに良くしようとする「自主・自治」の風土を育てていきたい。
- (3)小中一貫教育「仲間と力を合わせてのびやかに育つ福田の子」の今後
  - 目指す児童生徒像、指導の方向性を学府でそろえるよう検討。

## 6 喫緊の教育課題への取組

- (1) タブレットの活用
  - そこにあるのが当たり前の環境を教室に創り出す。(欠席連絡、健康観察…)
  - 若手教員中心のプロジェクトチームによる積極的検討。
- (2) 新型コロナウイルス感染症への対応
  - 感染症と熱中症の両立を目指して

## 7 おわりに

- 学校と家庭は「子ども一人ひとりの笑顔を絶やすことなく個々の可能性を伸ばし、立派に成長させる」という共通の目的のもと、程よい緊張感を保ちながら、連携・協力したい。
- 保護者や地域住民に、学校の取組に興味や関心を持っていただくとともに、地域の教育力をカリキュラムに取り入れた魅力ある教育活動を推進する。学校だよりやホームページを保護者目線でより分かりやすいものへ見直しを図る。さらに、保護者や地域住民の学校参画の機会を増やし、地域とともにある学校づくりを目指す。